

多文化共生のSAITAMAづくり事業に関する公募型プロポーザル実施要領

県内の外国人住民が増加する中、日本人にも外国人にも暮らしやすい地域づくりを進めるため身近な外国人を支援するボランティアを育成する必要があることから、育成に関する研修及び動画の作成を委託により実施する。

については、委託先を決定する企画提案競技を行うので、参加者を募集する。

1 募集内容

(1) 委託業務名

多文化共生のSAITAMAづくり事業業務

(2) 委託業務内容

別添「多文化共生のSAITAMAづくり事業業務委託仕様書」のとおり

(3) 委託業務期間

契約日から令和5年2月28日（火）まで

(4) 委託上限額

5,257,000円（消費税及び地方消費税を含む）を上限とする。

※本業務の契約締結に係る上限額（税込み）であり、予定価格はこの範囲内で別途算定する。

2 参加資格の要件

企画提案競技に参加することができる者は、次に掲げる事項全てに該当する者とする。

(1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定により埼玉県における一般競争入札の参加を制限されていないこと

(2) 埼玉県の契約に係る入札参加停止等の措置要綱（平成21年4月1日施行）に基づく入札参加停止等の措置を受けていないこと

(3) 物品の買入れ等に係る入札参加資格に関する告示（令和2年3月31日付埼玉県告示第277号）に基づき、物品等の業種「催物、映画、広告、その他業務」の営業品目「催物等」（大分類）、「催物の企画、運営等関連業務」（小分類）に登録され、A等級に格付された者であること

(4) 所在地要件が管轄内又は準管轄内であり、企業規模要件が大企業又は中小企業を満たす者であること

なお、自社（自己）の所在地及び企業規模については、埼玉県ホームページの入札情報公開システム（以下「情報公開システム」という。）により、競争入札参加資格者情報から検索し、確認すること

(5) 埼玉県の契約に係る暴力団排除措置要綱（平成21年4月1日施行）に基づく指名除外措置を受けていないこと

(6) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立て、民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立て又は破産法（平成16年法律第75号）に基づく破産手続開始の申立てがなされていないこと

- (7) 法人税、法人県民税、法人事業税、地方法人特別税、消費税及び地方消費税等納付すべき税金を滞納していないこと
- (8) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げる暴力団、同条第6号に規定する暴力団員である役職員を有する団体並びにそれらの利益となる活動を行っていないこと

3 企画提案競技に関する事項

(1) スケジュール（予定）

質問受付締切	6月16日（木）
質問回答	6月23日（木）まで
企画提案書受付期間	6月23日（木）～6月27日（月）午後4時
一次審査結果通知	7月5日（火）
プレゼンテーション審査	7月13日（水）
審査結果通知	7月20日（水）

(2) 企画提案書等の提出

企画提案に当たっては、以下のアからコの書類を提出すること。

ア 多文化共生のSAITAMAづくり事業業務委託企画提案応募申込書（様式1）

イ 企画提案書

企画提案書及び添付する資料は別紙「多文化共生のSAITAMAづくり事業業務委託仕様書」に基づいて、A4版・横向き・横書きのPDF形式で作成すること。作成に当たっては、極力フォントを大きくし、文字数を少なくすること。

なお、提案では、「①仕様書の内容を具現化したもの」、「②仕様書に独自で上乘せするもの」、「③仕様書と異なる提案を行うもの」の別が明確に判別できるようにすること。

(ア) 基本方針

本業務を実施する上での基本方針及び提案者の強み、特に重要と考えるポイント等を記載すること。

(イ) 業務概要

仕様書の「4 委託業務の内容」についてもれなく記載するとともに、特に以下のaからfの点に留意し、具体的に提案すること。また、仕様書に記載されていない新たな取組の追加提案も可能とする。

a カリキュラム

- ・仕様書の「4（1）研修の実施」及び「4（2）研修動画の作成」のいずれにおいても、「研修で身に付けること」「学習する内容」「理解を深めるための工夫」をまとめ提案すること。
- ・提案に当たっては、自社（団体）の独自性や強みなどを具体的に説明すること。
- ・カリキュラム（案）及び教材の作成方法等を提案すること。

b 講師（案）の選定

- ・仕様書の「4（1）研修の実施」及び「4（2）研修動画の作成」のいずれにおいても、経歴、資格、実務経験、研修分野について十分な専門知識を有している者を案として選任

し提案すること。

- ・提案する講師が本事業における研修の質を高めるためにどのような役割を担うのか説明すること。

c 研修の実施方法

- ・仕様書の「4（1）研修の実施」においては、集合研修で実施するものとし、実施方法及び手順を具体的に提案すること。会場及び開催時期等は以下のとおりとし、会場費として合計 200,000 円を計上する（変更の可能性がある事を留意すること。設備費は含まない）。

- ① 県北部会場：10/31（月）鴻巣市市民活動センター
- ② 県西部会場：11/23（木・祝）所沢市民文化センター ミューズ ザ・スクエア
- ③ 県南部会場：1/7（土）埼玉会館 小ホール
- ④ 県東部会場：2023 年 2 月に開催。具体的な日時及び会場は県が指定。

- ・定員の確保及び受講率の向上を図るため取組を具体的に提案すること。
- ・修了証としてデジタル認定証及び認定バッジについてのイメージ案を提案すること。

d 研修動画の作成について

- ・仕様書の「4（2）研修動画の作成」における動画の具体的なイメージがわかるような構成案を提示すること。

e 業務運営体制

- ・研修を実施するにあたり、支障がないように必要な人員を配置し、以下の(a)から(d)の点に留意し具体的に提案すること。なお、再委託を予定している場合、その予定事業者についても運営体制を記載すること。

- (a) 本業務の運営管理体制、運営管理責任者の役割等
- (b) 県及び連携団体との連絡体制及び連絡手段
- (c) 個人情報の管理、法令順守の体制
- (d) 事故があった場合等の危機管理対応等

ウ 業務実施体制調書（様式 2）

「3（2）イ（イ） e 業務運営体制」に掲げる内容と整合性をとること。また、総括責任者、副総括責任者、業務担当者、受付・事務担当者を明記すること。

エ 委託料見積書（様式任意）

- ・「1（4）委託上限額」に掲げる額の範囲内で作成すること。
- ・経費の内訳表を作成すること。経費の内訳表の作成に当たっては、研修費及びその他事業費に区分の上、人件費、社会保険料、交通費、報償費、消耗品費、通信費、使用料・賃借料等に区分し、全て単価を計上する。
- ・提案金額は、委託期間中の本業務に係る費用の見込み額とする。
- ・見積もった金額に当該金額の 100 分の 10 に相当する額を消費税及び地方消費税として加算して記載すること。
- ・受託者が再委託する場合は、再委託先、再委託内容、金額（総額及び積算）を明記すること。なお、再委託先の金額が受託者の金額を上回らないこと。

オ 会社概要等

法人・団体の概要が分かるもの（設立趣旨、事業内容のパンフレット等）

カ 本事業に類する業務の受託実績

令和2年度以降における、研修事業等その他これに類する事業の受託実績（事業主体は不問、民間事業も含む。団体名、成約年度、件名、事業の概要、契約金額等が記載されていること。）

キ 会社定款等

定款若しくは寄付行為及び登記事項証明書（提案日前3か月以内に発行されたもの）又はこれに準ずる書類

ク 決算関係書類

過去1年分の貸借対照表及び資金収支計算書又はこれに準ずる書類

ケ 納税証明書

法人税、法人県民税（県内に事業所がある場合）、法人事業税（県内に事業所がある場合）、地方法人特別税（県内に事業所がある場合）、並びに消費税及び地方消費税の納税証明書

コ 欠格事項に該当しない旨の誓約書（様式3）

加えて、提案者は県の要請があった場合、「2 参加資格の要件」に該当することを証明する資料（契約書の写し、提案者書式による証明書等）を追加提出すること。

(3) 企画提案書等の提出方法等

ア 提出方法

提出書類は、電子メールで提出する。ただし、「3（2）キからケ」に定める書類については郵送（受付期間内必着）で提出することも可能とする。

(ア) 提出先

埼玉県県民生活部国際課 多文化共生担当

メール a2705-11@pref.saitama.lg.jp

(イ) 受付期間

令和4年6月23日（木）午前9時から令和4年6月27日（月）午後4時まで

イ その他

(ア) 企画提案書等の提出については、1提案者につき1提案に限る。複数の提案はできない。

(イ) 企画提案書等の提出後は、その内容を変更することはできない。また、提出された企画提案書等は返却しない。

(ウ) 提出された企画提案書等は、提案者に無断で使用しない。ただし、埼玉県情報公開条例（平成12年埼玉県条例第77号）に基づき公文書開示請求がなされた場合は、この限りではない。

(エ) 企画提案書等の作成に係る経費は、提案者の負担とする。

(オ) 本企画提案は事業者の選定を目的としており、契約に当たっては提案書の内容に拘束されない。

(4) 質問事項の受付・回答

募集の内容に関する質問を次のとおり受け付ける。

ア 受付期間

令和4年6月16日（木）17時まで

イ 受付方法

「多文化共生のSAITAMAづくり事業業務委託企画提案募集の内容等に関する質問書」（様

式4)に記入の上、電子メールで提出すること。また、提出した場合は、必ず電話による到達確認を行うこと。

ウ 提出先

メール a2705-11@pref.saitama.lg.jp

エ 回答方法

質問を行った団体名を伏せた上で、令和4年6月23日(木)までに、本実施要領を掲載したホームページに回答を掲載する。

URL : <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/kikakuteian.html>

なお、メール以外による質問には応じない。

4 審査に関する事項

(1) 審査方法

県は、多文化共生のSAITAMAづくり事業委託業者審査委員会(以下、「委員会」という。)により、提出された企画提案書及びその他提出書類に基づき、事業の企画能力などを総合的に審査し、総合点が最も高かった提案者を委託契約先候補者に決定する。

ただし、提案者が4者以上の場合には、委員会において書類による審査を行い、審査を通過した者だけがプレゼンテーション審査を受けるものとする。

(2) プレゼンテーション審査

企画提案の内容について、プレゼンテーションにより審査を行う。

ア 開催日時

令和4年7月13日(水)に開催予定

詳細については、後日、企画提案書等を提出した者に対し、文書等で連絡する。

イ 企画提案の所要時間

プレゼンテーション 20分間

審査委員からの質疑 20分間

ウ 注意事項

(ア) プレゼンテーションは、既提出の企画提案書等により行う。

(イ) 提出書類に虚偽の記載や不備がある場合は、審査対象とならず失格とする。

(ウ) 企画提案者は、他の提案者の企画提案を傍聴することはできない。

(3) 審査結果の通知

審査結果は選定後、令和4年7月20日(水)までに提案者全員に対して通知する。

5 その他

(1) 提出書類は返却しない。

(2) 提案のための費用は、提案者の負担とする。

(3) この公募型プロポーザルに係る一連の手続き及び契約等に関する手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とする。

6 契約の締結について

県は、委託契約先候補者と業務履行に必要な協議を行い、協議が整った場合は委託契約先候補者か

ら改めて見積書を徴収し、見積書を精査の上、随意契約による委託契約を締結する。

委託契約先候補者と協議が整わない場合は、総合点が2番目に高かったものと改めて協議を行う。

なお、委託契約は埼玉県財務規則等関係法令に基づき締結する。